



2017 年度一般社団法人淡路青年会議所

## 社会開発事業

ともに描こう!淡路の未来!!

～淡路島くにうみミュージアム～

## 事業概要書

## 伝統の昇華

～魅力を新たな領域へ～

# 趣意書

一般社団法人 淡路青年会議所  
理事長 時枝 弘記

## 2017 年度社会開発事業

### ともに描こう!淡路の未来!!～淡路島くにうみミュージアム～

我々、一般社団法人淡路青年会議所は 1963 年の創立以来、「淡路はひとつ」の理念のもと、地域を愛し、地域のために何が必要なのかを徹底的に調査研究し、次役を見据えた運動の中で地域のひとつづくりとまちづくりを行い「明るい豊かな淡路島」の実現を目指し、日々活動を行っております。

「国生みの島・淡路」— 我が国最古の歴史書である古事記の冒頭を飾る国生み神話に、日本で最初に生まれた島が淡路島と記されています。これは他の地域が真似ることのできない淡路島の絶対的な独自性であり、単なる『ローカルブランド』としてではなく、世界に対してその価値を訴える事の出来る『グローバルブランド』であります。昨年「国生み神話」を核としたストーリーが文化庁の『日本遺産』に認定されたことは、公的にも淡路島の独自性が認められたということに他なりません。だからこそこのタイミングで島内周知を進めていくことで「国生みの島・淡路」のポテンシャルを高めていかねばなりません。また同時に淡路島が連日メディアに取り上げられ来島者が増加傾向の今だからこそ、多くの来島者が日本のはじまりの地である淡路島を明確に体感できるような整備していくことが必要であります。

そこで重要となってくるのは島内がまとまってこの独自性を推すことで、統一したブランドイメージを示すことであり、島中どこでもそのことを感じる事ができることであると考えます。それはつまり行政をはじめ各種団体、そして何より島民がしっかりとこの独自性の可能性を信じ、淡路島全体が地域の枠を超え一体となって広めていくことであります。このことは近い将来の淡路島を変えていくことのみならず、30年後、50年後という未来の淡路島を輝かせるものと確信しています。まずは島民一人ひとりの意識を変え、この独自性を淡路島の最も重要な魅力へと変えていく必要があると考えます。

そこで本年度は、『ともに描こう!淡路の未来!!～淡路島くにうみミュージアム～』を開催し、淡路島の独自性である「国生みの島・淡路」を魅力的に体感できる場を創造し致します。島民、とりわけ次代を担う若い世代には改めて淡路島の魅力を再発見して頂き、淡路島に訪れた方々には淡路島独自の魅力を認識して頂きたいと考えます。それぞれがイメージする淡路島の価値を高め、次代への土壌づくりを行うことで淡路島の明るい豊かな未来へと繋げて参ります。

何卒その趣旨をご理解いただき、ご協力とご賛同をいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 伝統の昇華

～魅力を新たな領域へ～

## 企 画 書

- 事業名称 ともに描こう！淡路の未来！！～淡路島くにうみミュージアム～
- 実施日時 ・淡路島くにうみミュージアム  
2017年11月3日（金） ～ 11月5日（日）  
開場時間 9：30 ～ 17：00
- 実施場所 淡路ワールドパークONOKORO  
〒656-2142 兵庫県淡路市塩田新島8番5  
TEL：0799-62-1192
- 動員目標 3500人
- 実施主体 一般社団法人淡路青年会議所
- 実施責任者 一般社団法人淡路青年会議所 理事長 時枝 弘記  
〒656-0013 兵庫県洲本市下加茂1-1-86辰岡ビル2階  
TEL 0799-22-6611
- 担当窓口 一般社団法人淡路青年会議所 社会開発委員会 委員長 川越 勇輔
- 対象者 島民及び来島者
- 後援依頼先 兵庫県淡路県民局、兵庫県教育委員会淡路教育事務所、洲本市、  
南あわじ市、淡路市、洲本市教育委員会、南あわじ市教育委員会、  
淡路市教育委員会
- 協力 淡路島日本遺産委員会  
構成団体：洲本市・南あわじ市・淡路市・淡路県民局・（一財）淡路島  
くにうみ協会・（一社）淡路島観光協会・（一社）淡路青年会議所  
淡路ワールドパーク ONOKORO

伝統の昇華  
～魅力を新たな領域へ～